

平成23年度事業計画書

昭和聖徳記念財団は、昭和天皇のご聖徳を顕彰し、後世に伝えるため、昭和天皇記念館の管理運営を行うとともに、学術研究への助成、青少年の健全育成及びご事績に関する講演会の開催や出版等の事業を行うことを目的としている。

当財団創設以来の念願であった昭和天皇記念館は、平成14年4月、国土交通省において、昭和天皇ご在位50年記念事業の一環として整備を進めてきた国営昭和記念公園「みどりの文化ゾーン」内の「花みどり文化センター」の一部に設置することとされ、その展示運営については、当財団の協力を得ることと決定された。当財団としては、これを受けて「花みどり文化センター」の一郭に展示施設としての内装を整え、宮内庁をはじめ、(独)国立科学博物館筑波研究資料センター、NHK放送博物館などの協力を得て、平成17年11月27日、昭和天皇記念館を国営昭和記念公園の「みどりの文化ゾーン」の開園と併せ開館した。

平成23年度は、昭和天皇記念館の展示内容に一層の工夫をこらし、運営の改善を図るとともに、昭和天皇のご事績を後世に伝えるため、記念館以外の諸事業についても、内容の拡充に努めることとする。

1. 公益目的事業

(1) 昭和天皇記念館の管理運営事業費 36,256千円

昭和天皇記念館は、昭和天皇のご聖徳をたたえそのお人柄をお偲びするとともに、後世にそのご事績を伝えつぐことを目的として開設した。

昭和天皇並びに香淳皇后のご遺品や映像などの展示により昭和の時代を顧みるとともに、昭和天皇の御心とお姿を一人でも多くの方に知っていただくため、平成23年度においては、平常展示「昭和天皇87年のご生涯」及び「昭和天皇の生物学ご研究」のほか、企画展示として平成23年3月2日より4月24日まで『香淳皇后のお誕生日にちなんで一ゆかりのお品の展示』、4月26日から6月19日まで『昭和天皇のお誕生日にちなんで一ゆかりのお品の展示』を実施し、その後も企画展示を予定する。

※【記念館管理運営事業収入見込額 7,500千円】

※【書籍頒布事業収入見込額 900千円】

(2) 生物学、医学等の学術研究への助成 2,810千円

昭和天皇は、皇居内の生物学御研究所で、ご公務の合間にご研究を続けられた。ご専門は変形菌類、海産動物のヒドロ虫類の分類学的研究だった。また那須や須崎の御用邸、皇居の周辺などでも、植物の調査・研究をお続けになられた。著書も多く出版され、業績は国際的に高く評価されている。

学術研究への助成は、平成3年度から、生物学に関する世界的学術者としての昭和天皇の研究分野(系統分類学)およびそれに関する生物学の研究を奨励し、学術研究の推進・発展に寄与することを目的として行い、平成21年度までに67件の助成を行ってきた。平成23年度は、引き続き動・植物における系統分類学の研究を対象として公募し審査のうえ、原則として1件あたり50万円を助成する。

(3) 青少年の健全育成及び自然環境保全のための社会教育活動

並びにこれらの活動への助成 0千円

フィリピン森づくりボランティア体験学習は、平成7年度(第1回)から平成20年度(第13回)まで363名の参加を得て実施してきたが、新型インフルエンザ流行のため平成21年度から実施を見送った。その後再開に向け検討を重ねたが諸般の事情により再開は困難であるとの結論に達し、残念ながら本事業は中止することとした。

(4) 昭和天皇のご事績普及事業の実施

18,514千円

①ご事績に関する事業

300千円

昭和の日を記念して昭和天皇のご遺徳を偲び、ご事績を後世に伝えるため、4月29日、国営昭和記念公園内において講師を招聘して講演会及び皇室関係のビデオ上映を行う。

また昭和天皇のご命日にあたる1月7日の御陵参拝、昭和天皇・香淳皇后の御陵をはじめ東京豊島岡の皇族方の御墓清掃等の勤労奉仕は、引き続いて行うこととする。

②機関紙「昭和」発行事業

11,130千円

昭和天皇のご聖徳を顕彰し、ご事績を後世に伝えるため、機関紙「昭和」を平成元年6月から発行、平成7年度からは財団法人日本宝くじ協会より助成を受けている。機関紙「昭和」では、昭和天皇、昭和の関連記事及び昭和天皇記念館の展示内容の説明記事等も掲載している。平成23年度においても機関紙「昭和」(年6回、各20,000部)を発行し、記事の内容の充実に努め、各所に配布する。

なお宝くじ協会からの助成金に変動が生じた場合は、発行部数等を調整することとする。

※【日本宝くじ協会助成金収入見込額 6,360千円】

※【協賛金収入見込額 500千円】

③昭和天皇御製カレンダー製作事業

7,084千円

昭和天皇のご聖徳を顕彰し、後世に伝えるため、宮内庁の許可を得て平成6

年から「昭和天皇御製カレンダー」を製作、贈呈頒布している。

平成23年度においても、引き続き昭和天皇のご遺徳、御製を広め伝えるため、平成24年版「昭和天皇御製カレンダー」（約1万部）を製作、贈呈頒布する。

※【御製カレンダー頒布収入見込額 7,500千円】

事業費合計	57,580千円
※助成金等収入見込額	<u>-22,760千円</u>
	34,820千円

2. 収益事業 6,000千円

昭和天皇記念館において、入館者のために記念となる品々の頒布を目的としたミュージアムショップの事業を営む。

【記念館MS収入見込額 7,000千円】

事業費合計	6,000千円
記念館MS収入見込額	<u>-7,000千円</u>
	-1,000千円